



鳥海なおき 市政報告

～ 強いまち誇れるまちの実現を目指して ～



地域の皆さまの声が市政に反映されるために

市議会議員就任から、2期目の折り返しとなる丸2年が経ちました。皆さま方より、様々なご意見やご要望を日々いただきまして、ありがたいと同時に、まだまだ多くの課題が目の前にあることを実感しております。

また、新型コロナウイルスの世界的規模での感染拡大と医療崩壊等が強く懸念される中、医療従事者をはじめ現場の最前線でご尽力をいただいている皆様、活動自粛の要請をはじめ感染拡大の防止にご協力をいただいている皆様に心から敬意と感謝を申し上げます。

引き続き、市民の代表としての立場を忘れずに、『強いまち』『誇れるまち』の実現を目指し市内全域、一人一人の声を拝聴し市民に対する行政サービスの向上のための政策提言も含めて積極的に活動してまいります。

令和2年12月定例会 鳥海なおき 一般質問より

学校と保護者との連絡手段の電子化について

問 学校現場の業務の効率化や教職員の負担軽減につながると考えられる、学校と保護者との連絡手段の電子化について、現在の成田市の運用体制は。また今後、各学校へどのように指導していくのか。

答 現在、学校では、行事等の案内通知や保護者の判断が必要な文書について、児童生徒を通じてやり取りしている。令和2年10

月には文部科学省から「学校が保護者等に求める押印の見直し及び学校・保護者等間における連絡手段のデジタル化の推進について」の通知があり、デジタル化へスムーズに移行するために押印を省略し、学校・保護者間の連絡手段をデジタル化する具体的なイメージが示されている。教育委員会としては、デジタル化へ移行する場合であっても、児童生徒の食物アレルギー調査や家庭調査等については、これまでと同様



に保護者と直接書面でやり取りすることが必要と考えている。一方、欠席等の連絡や行事等の参加承諾といった家庭や教職員の負担軽減に資する分野については、GIGAスクール構想の推進に併せて、現在のメール配信システムに代わる利便性の高いシステムの構築が必要と考えており、学校や保護者の理解を得ながら段階的に整備を進めていく。

- その他の質問
- ▶ 教育現場定着支援のアドバイザー契約の提案について
 - ▶ 休日の部活動の民間委託について
 - ▶ 教職員の負担軽減について

令和3年3月定例会 鳥海なおき 一般質問より

成田市立保育園の業務支援システムの導入検討へ

問 公立保育園では、現在、保育業務支援システムを採用していないと思いますが、本市の公立保育園でも本システムを採用すべきと考えますが見解を伺う。

市長答弁 公立保育園においては、導入実績は少なく、私立保育園などにおいては、28園のうち18園で導入している。保育業務支援システムの効果については、保育計画や園だより、

日誌などを作成する時間が短縮されることや園児の登園、降園の管理、保育士のシフト管理、時間外保育料の計算といった事務が自動化されることにより、保育士の人為的なミスを減少できるものとする。このようなことから日常の事務負担が軽減され、子どもと向き合う時間が増えることで、保育の質の向上につなが



るものと期待できる。情報の共有化と管理、作業時間の短縮化を行うための環境を整備し、保育士の業務負担を軽減するとともに、保育の質の向上を図るため、公立保育園の保育業務支援システムの導入について前向きに検討していく。

- その他の質問
- ▶ 本市のPPP/PFIの取組について
 - ▶ ずっと住み続けたいまちづくりについて
 - ▶ コロナ禍での児童生徒へのメンタルを含めた影響について
 - ▶ 成田を愛する教育活動について

令和3年3月定例会 経済環境常任委員会より

大栄地区：閉校の大須賀小学校・前林小学校 地区運動施設へ

議案第17号成田市地区運動施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正するについて

【経 緯】

本年4月から、大須賀小学校、桜田小学校、前林小学校、津富浦小学校、川上小学校が新設される大栄みらい学園（小中一貫校）に統合されます。

これに伴い、学校体育施設開放事業等の利用状況を考慮し、閉校となる5校のうち2校を地区運動施設として位置づけし、市民の健康増進及びスポーツ活動の促進を目的として有効利用を図るため条例の一部改正を行うものです。

【選定経緯】

各校が保有する運動場や体育館の広さ大栄地区内における各校の位置関係を検討し、大須賀・前林小学校の2校を選定。

【条例改正の内容】

地区運動施設として位置付けるため各条文に「大須賀運動施設」「前林運動施設」を追加。

【今後のスケジュール】

1施設4人の施設管理人を採用し、令和3年4月1日開設。



成田市新型コロナウイルスワクチン



ワクチン集団接種 訓練 開催

成田市はワクチンの集団接種訓練を行いました。成田市医師団、成田赤十字病院・国際医療福祉大学成田病院の先生方、被接種者として本市民生委員有志、成田市議会議員10数名も協力した。シュミレーションでした。



道路修繕工事

地域の声が届いています！



カーブミラー設置工事



成田駅前歩行者用通路カラー舗装工事

【成田市防犯灯LED化事業について】



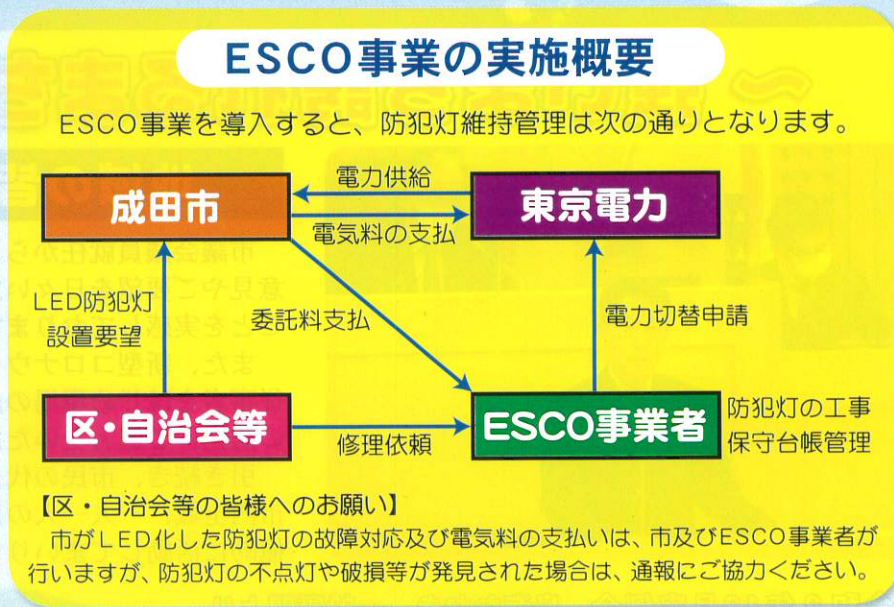
成田市ESCO事業導入へ ～自治会の負担軽減として有効な施策～

本市は、市内の区・自治会が維持管理する防犯灯を早期にLED化し自治会の負担軽減を図るために、民間の省エネルギー化事業（ESCO事業）を導入して、管理を市に移管します。

防犯灯のLED化に伴うESCO事業による自治体への管理の移管は電気料金などの維持管理費が安価になる点と、維持管理の一括化で負担を軽減できるなど多くのメリットがあるため、様々な自治体で行われ始めております。

本市でも防犯灯約12,000灯を、10年間のESCO契約で運用していく見込みであり、令和3年度中にESCO事業者を公募選定し、契約を締結後、そこから令和4年3月までにLED化工事を行っていき、4月1日からESCOサービスを開始するスケジュールとなっています。

※ESCO事業(エスコ事業:Energy Service Company事業の略)とは市と契約する事業者が、防犯灯LED化事業やその後の管理を実施し、市は防犯灯LED化による電気料等の削減分で、事業者に委託費を支払う事業です。



ESCO事業による防犯灯LED化事業の主なポイント

◎区・自治会等からLED化の同意を得られた防犯灯を対象にESCO事業を導入して一斉にLED化します。

- (1) LED化の費用は全て市が負担します。区・自治会等の負担はありません。
- (2) LED化した防犯灯の維持管理はESCO事業者が行います(10年間)。
- (3) ESCO事業終了後は、防犯灯の管理は引き続き市が直接行います。
- (4) 電気料金の支払いは、市から電力会社に直接支払います。

- (5) 防犯灯台帳に記載されていて、ESCO事業対象外となった防犯灯の維持管理には、今までどおり維持管理費補助金を交付します。
- (6) 防犯灯の修繕等は、区・自治会等よりご連絡をいただき、ESCO事業者が行います。
- (7) 防犯灯の新設は、区・自治会等より要望をいただき、市が設置し、維持管理を行います。区・自治会等の負担はありません。
- (8) 防犯灯の規格は、原則として、蛍光灯は7VA 水銀灯は9VAのLED灯に更新いたします。

※ESCO事業の注意事項 → 必ずしも自治会はESCO事業に同意する必要はない。しかしながら、自治会負担軽減と省エネルギー化のために取り組む必要があると考えられます。

◆詳しいことは
【問い合わせ】成田市交通防犯課 ☎0476-20-1527

鳥海なおき事務所に 議員インターン生が来ました!



千葉大学3年生 渡辺 純大 さん

議員インターン生に質問!!

(Q) 何故、議員インターンを志望したの?

(渡辺純大) もともと政治に人一倍興味がありました。議員の元で政治を身近に経験できる議員インターンというプログラムがあると知り、就職してからは経験できない、今しかできない貴重なものだと思ったので、迷わず応募しました。また、大学生活で他の人とは違った経験をしたいと思い志望しました。

(Q) 鳥海議員と一緒に活動してどのような印象もったの?

(渡辺純大) 鳥海議員は、中学校部活動の外部コーチを務めていらっしゃるなど、若い世代に親身に寄り添っている方と事前にお聞きしていましたが、実際に活動をご一緒させていただいて、成田市の未来を深く考えている方だと改めて感じました。地域の方々や面談する機会が多くありまして鳥海議員が信頼されていることも感じましたし議会傍聴して政治の着眼点、議員としての姿勢など、尊敬できる部分が非常に多くありました。

(Q) 議員インターンで学んだことは?

(渡辺純大) 普段経験できないことを経験しました。また、大学で政策を専攻しているのもあり政策について具体的に考えたい気持ちが強くなりました。インターン活動を通して、私自身だけでなく、若者がもっと政治について興味を持つべきだと感じました。もっと若者が政治に参画し、若者世代が政治に動きかければ、それだけの効果があるのではという気持ちを鳥海議員と一緒にさせていただいて強く感じるようになりました。



鳥海なおきから渡辺純大さんへ一言

2ヶ月間コロナ禍の中での制限のあったインターンシップでしたが、純大さんは、議員活動というある意味難しい活動形態の研修でしたが真摯な取り組み姿勢は素晴らしいです。

大学で政策を学んでいる学生なので、技術的な政策に対しての考え方は的確に判断でき、私自身の思考にもインパクトを与えてくれて、正直言うと一緒に学ぶことが多く感謝しております。

議員インターンは、議員になるためだけの研修ではなく大学卒業後、公務員や民間会社社員となるうえで、厳しい荒波を乗り越えるような社会生活に適應できる経験となったと思います。次なるステップでもしっかりとした意志をもって頑張ってくれると思いますし、ぜひ、若者の政治参画の重要性を一人でも多くの方に共有してもらえることを期待しています。

鳥海直樹プロフィール

- 学歴 市立習志野高等学校 普通科卒業 吹奏楽部 部長
亜細亜大学法学部法律学科 卒業
英国国立ウエルズ大学経営大学院(MBA) 卒業
- 職歴 中央信用金庫(現東京東信用金庫)
(株)ジェイ・エス・ピーサービス 代表取締役(現顧問)
- 経歴 昭和46年4月20日生まれ
成田北高等学校PTA会長
成田商工会議所 会員
(一社)成田法人会 会員
(一社)成田市観光協会 会員
成田コスモポリタンロータリークラブ 会員
玉造地区青少年健全育成協議会 副会長
FCボレイロ成田 副代表
成田市中学生文化活動活性化事業:外部指導者(吹奏楽)
- 市議会会派 政友クラブ
- 市議会所属委員会 経済環境常任委員会:委員長
空港対策特別委員会